

日本技術士会 地域本部長各位

広報委員会 委員長 笹口裕昭

月刊『技術士』2022年7月特別号  
「極限環境技術特集」執筆のお願い

平素は広報委員会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

この度、広報委員会では各方面で活躍されている技術士の情報共有を図る一助として、月刊『技術士』(PE)「2022年7月特別号」において、「極限環境技術特集」を企画いたしました。つきましては、本企画への執筆ご協力を賜りたく、何卒宜しくお願い致します。

◆7月特別号記事の執筆依頼の概要

1. 執筆内容

来年2022年7月の特集号のテーマは「極限環境技術」です。

宇宙や深海、南極や北極、高所、高放射線など、人間がそのままでは活動できない環境や、ミクロの世界・超高温の世界など、「極限」と呼ぶにふさわしい状況や環境が存在します。人類は、未知の世界への探求心、活動領域の拡大に向けて、それら極限環境での活動を拡大してきました。現在も、より「長く」「快適に」「詳しく」など、活動拡大・詳細化を目指す技術開発が進められています。

極限環境への挑戦は、結果として、通常環境における技術向上や革命を起こすことが期待されます。また、極限環境活動の課題解決に向けては、様々な分野・企業・研究機関の連携があるケースも多いと考えられます。このことは、「技術を分野横断的に結集し、未知の世界に挑戦する」という、技術士のあるべき姿の一つとも重なります。

以上を踏まえ、様々な分野における技術者の極限環境に対する取り組みについて、具体的な事例を交えて執筆をお願いしたく、執筆者を募集します。

・原稿キーワード例

宇宙、深海、南極・北極、高所、高放射線、低酸素、灼熱、厳寒、超音速、爆音、高山、密林、その他 極限環境に関わること

- ・原稿頁数：1人4頁
- ・原稿初稿提出期限：2022年3月28日（月）

2. 執筆者ご連絡のお願い

上記1の内容について執筆いただける方を12月27日（月）までにご連絡いただきたく、ご検討の程宜しくお願い致します。

- ・執筆者：10～12部門10～12名（1部門1～2名程度）  
本特集号につきましては、会員以外の方からも執筆者を募集致します。
- ・募集期間：2021年11月15日（月）～2021年12月27日（月）
- ・連絡先メールアドレス：[pe-extreme-tech@googlegroups.com](mailto:pe-extreme-tech@googlegroups.com)
- ・連絡内容：執筆者の氏名と原稿タイトル、概要（100文字程度）  
メールアドレスの件名を「極限環境技術特集 執筆」として送信して下さい。

尚、執筆者がいない場合でも、その旨のご連絡をお願い致します。執筆者が多数の場合は、広報委員会で調整ののち、改めてご連絡させていただきます。

3. 執筆者への正式執筆依頼（予定）

- ・2022年1月11日（火）  
1月6日（木）開催の広報委員会で執筆者を確定後、正式に執筆依頼致します。

4. 問い合わせ先

- ・広報委員 特別号担当 渡邊 勇基（連絡アドレス：[yk\\_watanabe@aes.co.jp](mailto:yk_watanabe@aes.co.jp)）